

# 【融合と成長の新農林水産ビジネス創出戦略】

## ●戦略の目標

◆農業及び水産業の産出額と食料品製造出荷額の合計 (単位:億円)

	基準値(H20)	H22	H23	H24	H25
目標値	—	3,270	3,350	3,420	3,500
実績値	3,182	2,893	—	—	—

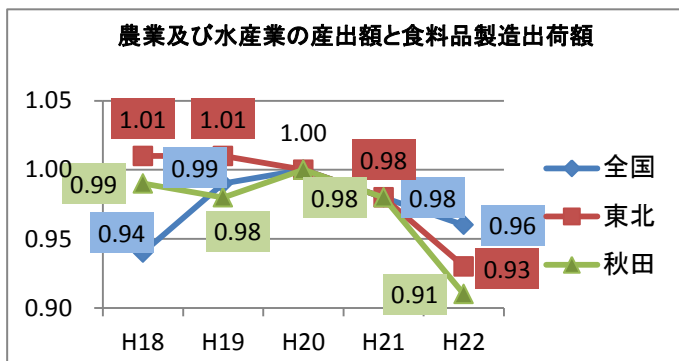
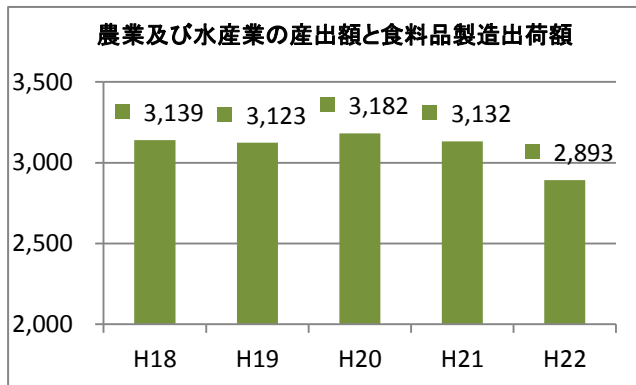
(全国シェア 0.7%) (全国シェア 0.7%)

◆林業産出額と木材産業出荷額の合計 (単位:億円)

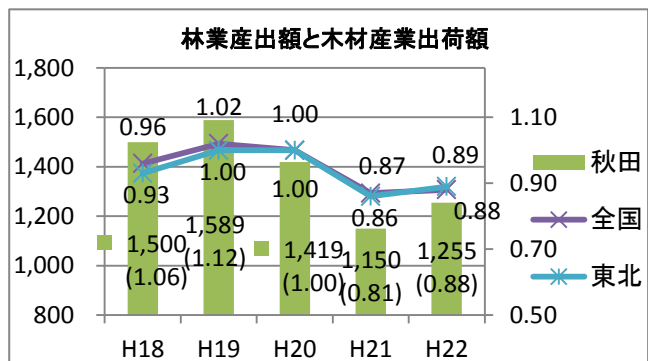
	基準値(H20)	H22	H23	H24	H25
目標値	—	1,610	1,640	1,670	1,700
実績値	1,419	1,255	—	—	—

(全国シェア 1.1%) (全国シェア 1.1%)

※H23実績については、農林水産調査統計結果(H25公表予定)等が未定



※ 全国・東北との比較は平成20年を基準年(1.0)として対比  
 ※ 産出額は特用林産産出額を除いた額で比較している。



※ 全国・東北との比較は平成20年を基準年(1.0)として対比

## 戦略の達成度に関する分析

### ○現状

「農業及び水産業の産出額と食料品製造出荷額」は、基準年(H20)以降全国的に減少傾向。本県は平成22年度に全国・東北と比べて大きく減少。全国に占める本県のシェアは0.7%。

「林業産出額と木材産業出荷額」は、平成22年度、全国的に大きく減少し、本県も同様に大きく減少。平成22年度は全国的に増加に転じ、本県は全国・東北に比べて増加幅が大きく、対基準年比は全国・東北と同程度まで回復。全国に占める本県のシェアは1.1%。

### ○増減の要因

「農業及び水産業の産出額と食料品製造出荷額」は、米価の下落等により全国的に減少傾向にある中、本県は、平成22年度に米の不作(作況指数93)と品質低下(一等米比率70.5%)も重なり、全国・東北に比べて減少幅が大きくなった。

「林業産出額と木材産業出荷額」は、リーマンショックにより住宅着工戸数が減少し、全国的に大きく減少したが、その後、住宅着工戸数がやや持ち直したことから、僅かに回復してきている。本県の主力である合板・集成材は、住宅着工戸数の影響を受けやすいことから減少幅や増加幅が大きくなっている。

### ○今後の本県の見込み

農業については、ほ場整備の推進と相まって農業経営の法人化が進展するとともに、えだまめ・ねぎ・リンドウ等の産地拡大や県有種雄牛「義平福」の全国的な評価の高まり、オリジナル品種の誕生など、成果が出てきている。

また、漁業については、北限の秋田ふぐなどブランド化が進んでいるほか、林業・木材産業については、路網整備や高性能林業機械の導入、大規模製材工場の稼働など安定供給体制に向けた取組が進展するなど、農林漁業それぞれの分野において、発展基盤が整ってきており、目標に向けて前進できるものと考えている。